

vol.54

ZAC

東松山障害者就労支援センター

2021年 新春号

発刊日1月13日

news
ザックニュース

< 代表 新年のごあいさつ >

新年あけましておめでとうございます。

2021年。皆さまはどの様な新しい年を迎えられたでしょうか。今年は、これまでとは異なり、特別な新年の迎え方になったのではないかと察します。昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大、またこの感染拡大の第3波といわれている現在の状況下、あたりまえと感じていた多くの事柄は、様々な変化をなし、あらためてそのことの尊さに気づかされる日々となっております。

さて、皆さまは「諸行無常」という言葉について、またこの言葉の持つ意味についてご存知でしょうか。この言葉は、仏教用語として使われているもので、「諸行」とは因縁によって起こるこの世の現象を指し、「無常」とは、一切は常に変化し不変のものはないということを指しています。つまり、この世の現実存在(森羅万象)はすべて、「姿形」も「本質」も常に流動変化するものであり、一瞬と云えども存在は同一性を保持することができない、ということの意味しています。また、皆さまにはよく知られている「平家物語」の冒頭文「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理(ことわり)をあらわす」という一文にも引用されており、栄華を誇った平家の時代も時と共に終わりを告げ、何事もなかったかのように次の時代に引き継がれていくことを表現しました。この様子は、まさに現在の未知の感染症「新型コロナウイルス」の蔓延が、私たちのこれまでの「あたりまえの生活」を一変させたことに類似しているように感じます。そこに確かに存在していた多くの大切な命が奪われ、また様々な活動制限の影響が「財産」や「富」、「名声」や「地位」を失うという、正しく「無常」ではないでしょうか。そして私は、こうも考えます。これだけの混乱を生み出したこの憎むべき相手が目に見えない敵であることに、何もできない無力感や疲弊感を覚えずにはいられない一方、この見えざる敵は、今を生きる慢心の私たち人間への戒めではないかとも。私たちの住む日本という国だけではありませんが、多くの国が、国益のための経済発展を第一優先とし、自然界の多くのものを奪いそして変化をさせてきました。この目に見えない敵は、もしかするとこの自然界を守るべき、人間を淘汰するものとして生まれてきたのかも知れない、そんな気持ちにもさせられます。

いま私は「諸行無常」という言葉をあらためて噛みしめています。形あるものすべては、いつかその形を変え消えて行く、また始まりがあるということは、いつか必ず終わりを迎える。この未知の感染症の蔓延、見えざる敵もいつかその形を変え消えて行くのかも知れませんが、慢心で世の中を変えてしまった人間こそが、その形を変え、ともすれば消えて行く宿命なのかも知れません。いずれにせよ、このような時世だからこそ今を真剣に生き、そして今できる目の前の事をしっかりやっておくということを大切にしなければいけないのではないのでしょうか。今よりも良いものに変えるために、この一瞬を後悔しないように足を前に踏み出し続けたいものです。「諸行無常」という言葉には、そんな力強さも秘めている気がします。

年頭のご挨拶に寄せて、少し暗い話に聞こえたかも知れませんが、ぜひ皆さまと、この「諸行無常」の秘める力強さを共有して、今年はこの困難を乗り越えたいと思っております。皆さま、ならびにご家族、関係者の方々のご健康とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 若尾勝己

★目次★

- ・代表 新年のごあいさつ
- ・祝 就職
- ・専門性 / 支援力向上 !!
- ・進化する携帯電話とSNS
- ・コロナ禍でのITワークス
- ・事務の仕事って...
- ・お知らせコーナー「障害者委託訓練」「センター実績報告」
- ・編集後記

祝！就職！

おめでとうございます！

令和2年度 就労移行支援事業所から就職された方をご紹介！！ (令和2年12月末まで)

Tさん

- 証券を扱う会社
- 就業時間 9時～16時 週5日
- 仕事内容 農業



Mさん

- 埼玉県
 - 就業時間 9時～16時
 - 仕事内容 事務
- ICT系の仕事(音声テキスト化、データ入力、集計、名刺データ化 など)



Sさん

- 埼玉県
 - 就業時間 9時～16時
 - 仕事内容 事務
- 作業系の仕事(封入封緘、袋詰め、シール貼り、書類組み など)



Hさん

- 埼玉県
 - 就業時間 9時～16時
 - 仕事内容 事務
- 作業系の仕事(封入封緘、袋詰め、シール貼り、書類組み など)

専門性！支援力向上！！

12月21(月)、22日(火)に内部研修を実施しました。今回は「MWS活用と行動観察の視点」というテーマで法人職員9名を対象に行いました。MWSとは「ワークサンプル幕張版」の略称で独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の障害者職業総合センターで開発された、作業の疑似体験や職業上の課題を対象者と共に把握するツールのことを言います。OA作業・事務作業・実務作業に大別され、10種類以上のツール(メニュー)があります。

当法人の就労移行支援事業所や障がい者就業総合相談室リレーションシップセンターでのアセスメント、委託訓練において活用しております。今回の研修はこのツールの有効的な使い方について、普段から活用している職員だけでなく就労支援を行う職員も対象として学びました。

講義、演習を通して“ワークサンプルを活用して対象者の顕在化されていない意識や行動をどのように表出させるか”というとても深いテーマについて考えました。標準化されたツールを通して見える対象者の特徴だけでなく、行動観察や対話によってどれだけ言語化した情報を対象者と共有できるか…支援者の力量が問われるものと思い知りました。ともするとこのMWSは、ただ課題が出来たできなかった、向き不向きを見るような使用になりがちなのですが、対象者の課題に見立てをつけて臨み、異なる課題で検証を重ねることで相互理解が深まることを学びました。

研修は演習を中心に行い、職員同士で支援者と被験者にわかれ取り組みました。ロールプレイではなく、実際の課題を通じてアセスメントを行いました。これも一人の支援者の見解で偏りが出ないよう、他の職員はその様子を観察し、それぞれが見立てを意見して多角的に評価するように試みました。

2日間という時間で理解出来るようなものではなく、多くの対象者の方と回数を重ねていくことがスキル向上の近道なのでしょう。

これからも障害者の就労支援を専門に行う法人として、各職員がスキルを上げていくことが必須です。内部研修、外部研修を通じて皆様の期待に沿えるような支援が出来るよう学んでいきたいと思いました。(友田)



進化し続ける携帯電話とSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)

障害者就業・生活支援センターの交流事業として

毎年多くの方にご参加いただき、社会生活力向上セミナーですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、人数を絞らせていただき、また、国の示す感染対策を行いながら、令和2年8月8日(土)、同年9月12日(土)の2回に分けて、実施をさせていただきました。

今回のテーマは「携帯電話の使い方について」

進化している携帯電話やSNSをどう使い、何に気を付けているのか。新型コロナウイルスの感染が拡大する中、どのような活用方法があるのか。Zoomを使って、オンラインでの面談や交流がどこまでできるものなのかを試してみる機会としました。

開催してみて感じたことは、『人によって、使い方は様々』であること。

電話やメール、Zoomなどのツールを、今後どのように活用していくのか。使える機能が限られた人と、どうすれば連絡や情報交換ができるのか。一人ひとり対応を考えていかななくてはならない。と思う機会になりました。

また、職員自身も知識の無さを痛感。ばたばたしながらの進行となってしまいました…(泣)。

いつもは勉強しながら交流する当たり前の光景が、今回は久々に会う仲間と「静かに」ではありますが、楽しそうに交流されている様子を見て、このような集まりは働き続ける人にとって大切な場所であるんだと改めて感じました。実際に会って、わいわいと話したいところですが、こんな状況になっても「集まらない」で終わりにするのではなく、どうすれば、より多くの人と交流できるようになるのか。その方法をこれからも考えていきたいと思いました。(木村T)



コロナ禍でのリラックス

令和2年12月5日(土)に障害者就業・生活支援センターの交流事業として交流ピアサロンを開催しました。

コロナ禍のご時世で人と会いづらくなったり、外出を自粛したり、なかなか思うように行動できない…日々の不安は誰にでもあると思います。そんな不安を分かち合いながら、安心して「つながり」を感じ、ホッとできる場として、感染防止対策を徹底して行いました。

午前の部は、はじめての女子会を開催！

アロマの香りの中でフリードリンクとお菓子を楽しみながら、趣味やリラックス方法、地元のおいしいお店情報等々、話題がつきず(^-^) やっぱりおしゃべりって楽しいですね♪

午後の部は、恒例のサロンで「コロナ禍の生活について」をテーマに

自粛生活をどのように過ごしたか、やりたいことや我慢していることなど意見交換をしました。

“こんな工夫をすると、自分の趣味ができたよ”と参考になるお話もたくさんありました！

今回の開催について、このようなご時世で中止も検討していましたが、

お互いに気をつけながら、和やかな雰囲気の中で交流を深める貴重な機会となりました。(大浦)



事務の仕事って・・・(福祉の街様 会社見学)

久喜にあります就労支援センターGrassrootsでは、障害者委託訓練「就労準備プログラムコース」をおこなっています。このプログラムの一環で令和2年9月11日に、さいたま市大宮区にある『株式会社福祉の街』様へ、障害者委託訓練利用中の訓練生3名と職場見学に伺いました。

福祉の街様は訪問入浴を中心に訪問介護やグループホームなど、高齢者の方のサービスや施設を展開しており、介護保険ができる前から、民間企業で介護サービスができるということ、先進的に行ってこられた企業様です。当法人も3名、障害者雇用でお世話になっております。今回は本部にお邪魔し、事務仕事とは、どういったものかを勉強させていただきました。事務といってもただ、パソコンを打つだけではなく、いろいろなお仕事があることを、実際に『見て』『聞いて』学ぶことができました。

訓練生のみなさんにとってはとても緊張する日であったと思いますが、実際に事務の仕事を見ることができ、良い機会、良い刺激になったようでした。

お忙しい中、当法人の訓練プログラムにご協力くださいました

株式会社福祉の街様

取締役 経営管理部 部長 松本様

経営管理部 主任 高橋様

本当にありがとうございました。(木村T)



お知らせコーナー

<障害者委託訓練「就労準備プログラムコース」>

就労支援センターGrassroots

リレーションシップセンター東松山 今後の予定>

今年度の開催は、終了いたしました。

※公募期間は開始の1か月～1か月半前からになります。

ハローワークの委託訓練冊子、ホームページをご覧ください、何かありましたら、各事業所へお問い合わせください。

<法人実績報告(令和2年4月～令和2年12月末)>

★新規登録者

知的11名 身体0名 精神9名 その他0名 令和2年12月末現在 センター登録者数1118名

★就職者

知的 12名 身体 1名 精神 4名 その他0名 離職者9名

令和2年12月末現在 在職支援者総数 380名

★実習者(のべ件数)

知的5名 身体1名 精神10名 その他1名

令和2年12月末現在 実習者数(延べ件数) 17名

編集後記

あけましておめでとうございます。

前回の発行から、あっという間に年が明けてしまいました。

新型コロナウイルスの流行により、仕事や生活を制限され、なかなか落ち着かず、大変な日々を送られているかと思いません。

自由に外出できないということが、こんなにつらいものとは、改めて実感しました。早く大好きな温泉やスノーボードに行きたいのですが、今は我慢・・・(泣)。体調には十分に気を付けて乗り越えていきましょう。早くコロナウイルスが落ち着きますように。今年もよろしく願いいたします(木村T)

<発行責任>

〒355-0028

埼玉県東松山市箭弓町1-11-17

ハイムグランデ東松山2階

特定非営利活動法人

東松山障害者就労支援センター

代表理事 若尾 勝己

TEL&FAX 0493-24-5658

Email r-ship-c.honbu@blue.ocn.ne.jp